

ニュースレター 由かさはらの家

20160120号

2016年 1月・2月の
イベント情報

薪ストーブ体感会

1月31日(日曜日) 午後1:30~

今シーズン2回目となる『薪ストーブ体感会』!
この『薪ストーブ体感会』は昨年の大雪の時、薪ストーブが大活躍したことをお客様から聞き、もっと薪ストーブの魅力を伝えたいと始めたイベント。会場が実際にお住まいになっている『由かさはらの家』のお客様のおうちという点、講師がそのおうちの施主様ということ、本音でお話したく「薪ストーブ導入までの秘話」や、「実際に使ってみるとどんな感じなのか?」「薪割りや煙突掃除は大変なのか?」「薪ストーブのメリット、デメリット」「薪ストーブで生活がいかに(豊かに)変化したのか?」など薪ストーブにまつわるそのおうちのエピソードが毎回大好評をいただいています。

今回は会場を国府町の様印に移し開催します!...ご実家の山の木を組み上げた大空間のリビングを頑張って暖める薪ストーブを囲みながらおいしいコーヒーを味わいつついろんなお話ができればと思います。

定員:10名様です。

(担当:中谷までお願いします。)

※詳しい場所等はお申し込みの時に伝えます。

※対象がこれから薪ストーブを導入したい方のイベントとなっています。見学会ではありません。おうちの中で見てはいけない箇所がございますのでご了承ください。

完成見学会のお知らせ

『広々・家事楽・余裕の家』

高山市上岡本町1丁目

2月13(土)・14(日)

10:00~17:00



大空間のリビングと一体となったキッチンはいくつかの場所に配置されています。こうすることで少し散らかっていても目立たない工夫です。おうちの司令塔であるキッチンは少し立ち上がるとリビング全体が見渡せるようになっています!

水廻りもコンパクトに1箇所にまとめて、キッチンから、物干し場へと最短動線で結んでいます。

花粉の季節や梅雨時、外出の時に非常に便利なインターバルコニ(室内物干し場)には薪ストーブの煙突が貫通して、幅射熱で洗濯物を乾かすこともできる工夫も施されています。

『由かさはらの家』の定番のイセ掛け!「梁現わしの大きなリビングに薪ストーブ!」今回のおうちには薪の投入をいかに楽にできるかという点も考えました。薪ストーブの火台の横に薪投入口を設けました。扉を開けるとそこには薪ストックスペースが...しかも外から薪を入れることも出来るようになっています。←これは結構使えるのでは?と内心思っています...

家づくりのご参考に...ご来場お待ちしております!

各イベントのお申し込みはお電話で承ります!

080-4227-1020

あけましておめでとうございます!

本年も『由かさはらの家』
由原木材株式会社を
どうぞよろしくお願いいたします。

今年初めてのニュースレター

今年までできる限り
毎月皆様にお届け
できる予定です!
(ブログは毎日更新
中ですので是非
チェックしてみてください!)

韓国で住宅建築中!

~着々と進んでいます~

昨年十二月に上棟した韓国の華城市(ソウルから30kmほど南)での住宅建築工事。飛騨の木をふんだんにつかい、飛騨の大工さんが組み上げました。モジュール(基本寸法のマス目となる寸法)を三尺としたため、樹脂製の断熱サッシも日本製のものを出し、サッシ屋さんにも取り付けに行ってもらいました。

現在、大工二名『由かさはらの家』社員大工の野村と協力業者の保木口大工さん)で内部の造作工事中。屋根、外壁、電気、水道等は韓国の業者さんが入り進めてくれています。

私とウチの社長も月1ペースで現場監理に行っています。

韓国では、3食送り迎えつき、大工さんには床暖房付きのアパートも用意してもらって、非常にいい待遇で仕事をさせていただいています。辛いものがダメという大工さんも、「全部の食事が美味しい!」とってもらえて一安心...

施主様は「若いのにすごく仕事ができる!」と日本の大工さんの働きぶりに感激されている様子でした。「韓国人は社長が見ていないとすぐサボってしまうが、日本人は社長がいない時の方がよく働く!」とも笑いながらおっしゃっていました。

今後、施主様は韓国で『LaLaHome』という会社を立ち上げ住宅建築をしていくということになります。そのための専属スタッフ(現場監督)も雇い入れ現場に付きっきりで仕事を覚えようと勉強中です。

ですので、今回の一棟だけではなく二棟目、三棟目と仕事があるかもしれません。岐阜県でも県産材需要を拡大するため今後木材の海外輸出を増やそうという動きがあり、追い風ムードも出てきています。

今回大工さんに行ってもらったことあたり、本人はもとよりご家族にも多大なご心配をお掛けしたと思います。たいへん申し訳ございませんでした。そして、ほんとうにご協力ありがとうございました。

まだまだ今の現場では韓国の大工さんが日本の大工さんの木造建築の技術を学ぶという場面がありませんが、今後は、韓国国内での大工技能者の育成を見据え、協力体制を強固にしていかなければと考えています。



見学会レポート

高山市桐生町8丁目

1月16(土)・17(日)
無事終了しました!

子育て世代のための 市街地に立つ木造3階建ての家 完成見学会

実はこのおうち『由かさはらの家』スタッフ石井の家なんです。建てる前からコツコツと材料を集め...こだわりの随所に感じられる木の家が完成しました!

家づくりにはお客様それぞれのドラマがあります。今回『自邸建築』で十分すぎるほどのドラマがあったこと(笑)。自らの経験として語ることはに説得力が出てきたのはそのせい? 今後パワーアップした石井はお客様の家づくりのよきパートナーになってくれること(笑)!

たくさんのご来場ありがとうございました!
いい出会いがたくさんありました!

